

昨年クヌギを原料とする茶の湯炭の生産者が愛媛県内子町にはじめて全国より集まり、「茶の湯炭の世界 全国大会 in 内子」として、製炭技術の継承、茶の湯の世界、クヌギ林の維持・再生、地域資源の活用、循環型エネルギー、農山村の維持再生などについて討議し、実地踏査されました。今回第二回目を京都で行うにあたり、茶の湯炭をとりまく環境問題について、若い世代から継承者まで含めて、いろいろな角度から考えていきます。

日程(予定)	9月30日(金)	12時	開場	
		12時30分	開会	
		13時	基調講演：お茶炭をとりまく環境問題について	…出演：小林正秀京都府立大学特別講師
		13時30分	語らい：第一部「里山と炭焼きの未来」	…出演：福留明日香氏、高木理恵氏(林業女子会) 大野長一郎氏(大野製炭工場代表) 松田直子氏(ヒバナ代表) 司会進行：長谷川和子氏
		14時30分	休憩	
		14時45分	語らい：第二部「お茶炭をとりまく環境」	…出演：梶田真章氏(法然院貫主) 小林正秀氏(京都府立大学特別講師) 山岡 亨氏(愛炭企業組合) 小谷義隆氏(池田炭づくり支援協議会) 村田 清氏(京都市都市緑化協会理事長) 司会進行：長谷川和子氏
	10月1日(土)	18時	懇親会：三井ガーデンホテル 京都四条	
		9時集合	現地視察会	
			大阪(能勢菊炭) 京都府京丹波町の京菊炭 炭窯見学	
		18時	解散予定	

司会進行	長谷川和子	株式会社ケイアソシエイツ代表 元 KBS 京都プロデューサー
出演者	小林正秀	京都府立大学特別講師 カシノナガキタイムシが媒介する病原菌による樹木の枯死被害の発生メカニズムの解明と、防除法の開発に関する研究、シカなどの獣害、マツ枯れなどの行政課題にも取り組む。
	福留明日香	林業女子会 @ 京都 京都大学 農学部 大学院
	高木理恵	林業女子会 @ 京都 京都大学 農学部
	松田直子	株式会社ヒバナ代表 NPO 薪く炭く KYOTO(しんくたんくきょうと)の活動で森林バイオマスの楽しさや可能性を知り、環境計画や地域づくりコンサルティングの仕事に従事した後、2006 年に(株)Hibana(ヒバナ)を設立。
	大野長一郎	大野製炭工場代表 珠洲市木竹炭生産組合組合長 22 歳で専業になり新たにクヌギの茶の湯炭生産に向け、クヌギの植林から始めた若手炭焼き職人。
	梶田真章	法然院貫主 アーティストの発表の場やシンポジウムの会場として寺を開放するなど、現代における寺の可能性を追求しつつ、環境問題に強い関心を持ち、多くの市民団体に参加。寺を預かる僧侶として、そして一市民として、個性を発揮できる活動を通じて社会的役割を果たそうと努めている。
	山岡 亨	愛炭企業組合 2002年神奈川県より愛媛県内子町に移住し、大木一氏に師事。技術継承者として他2名の弟子とともに茶の湯炭の生産に携わる。
	小谷義隆	合同社能勢さとやま創造館代表 池田炭づくり支援協議会会員 全国に名高い「池田炭」の元炭となる能勢菊炭の生産者。能勢菊炭の美しさを活かした新しい利用法を提案し、伝統技術を後世に伝えるべく活動中。
	村田 清	京都市都市緑化協会理事長 本大会開催地実行委員長

※順不同

お申込み方法 下記申し込み要綱に記入して事務局まで FAX でお申し込みください。語らい部の参加は無料です。
ただし参加多数の場合は入場をお断りする場合があります。なお、会費等は各会場にてお支払いください。
※現地視察会は人数に限りがありますので先着順にて締切ります。

参加希望	☐ 語らいの部 (無料)	☐ 懇親会 (会費 5,000 円)	☐ 現地視察会 (2,500 円)※バス・昼食代含む
氏 名			
住 所			
電 話	FAX		
会社 / 所属団体名	メールアドレス		

申し込み・お問い合わせ 〒602-0841 京都市上京区河原町通今出川下る 梶井町 448-5 クリエイションコア京都御車 305 株式会社カーボテック内
茶の湯炭の世界 全国大会京都開催地実行委員会 TEL 075-257-5101 FAX 075-257-5102